



外部の橋本 Corp を使用するようにデータブローカーを設定する バックアップ Cloud Manager

Ben Cammett
February 28, 2021

目次

外部の橋本 Corp を使用するようにデータブローカーを設定する バックアップ	1
ヴォールトを準備しています	1
データブローカーの準備	2
ヴォールトのシークレットを使用して、新しい同期関係を作成します	3

外部の橋本 Corp を使用するようにデータブローカーを設定する バックアップ

Amazon S3 、 Azure 、または Google Cloud のクレデンシャルが必要な同期関係を作成する場合は、 Cloud Sync のユーザインターフェイスまたは API を使用してそれらのクレデンシャルを指定する必要があります。別の方法として、データブローカーをセットアップして、外部の橋本社ボールドから直接クレデンシャル（または *secrets*）にアクセスする方法もあります。

この機能は、 Cloud Sync API を使用し、 Amazon S3 、 Azure 、または Google Cloud のクレデンシャルを必要とする同期関係をサポートします。

ボルトを準備します

URL を設定して、データブローカーにクレデンシャルを提供するようにヴォールトを準備します。ボールドのシークレットの URL は、 *creds_* で終わる必要があります。

データブローカーを準備

データブローカーのローカル構成ファイルを変更し、外部ボルトからクレデンシャルを取得するようにデータブローカーを準備します。

API を使用して同期関係を作成してください

すべての設定が完了したら、 API 呼び出しを送信して、ヴォールトを使用してシークレットを取得する同期関係を作成できます。

ヴォールトを準備しています

ボールドのシークレットに Cloud Sync の URL を指定する必要があります。URL を設定してボールドを準備します。作成する同期関係の各ソースとターゲットのクレデンシャルへの URL を設定する必要があります。

URL は次のように設定する必要があります。

「 `/<path>/<RequestID>/<endpoint-protocol> creds` 」を指定します

パス

シークレットへのプレフィックスパス。この値は、お客様に固有の任意の値にすることができます。

リクエスト ID

生成する必要があるリクエスト ID 。同期関係を作成するときは、 API POST 要求のいずれかのヘッダーに ID を指定する必要があります。

エンドポイントプロトコル

定義されている次のいずれかのプロトコル "[v2 以降の関係に関するドキュメント](#)"： S3 、 Azure 、 GCP （それぞれ大文字で入力する必要があります）。

Creds （作成）

URL の末尾は *creds.* にする必要があります。

例

次の例は、シークレットへの URL を示しています。

ソースクレデンシャルの完全な **URL** とパスの例

この例のように、プレフィックスパスは `/my-path/all-secrets/` で、要求 ID は `_hb312vdsr2_` で、ソースエンドポイントは S3 です。

ターゲットクレデンシャルの完全な **URL** とパスの例

プレフィックスパスは `/my-path/all-secrets/`、要求 ID は `n32hcbnejk2`、ターゲットエンドポイントは Azure です。

データブローカーの準備

データブローカーのローカル構成ファイルを変更し、外部ボルトからクレデンシャルを取得するようにデータブローカーを準備します。

手順

1. SSH をデータブローカーに接続
2. `/opt/netapp/databroker/config` にある `local.json` ファイルを編集します。
3. `enable` を `* true *` に設定し、`_external-m積分 .hashicorp_as` の下に `config` パラメータフィールドを設定します。

有効

- 有効な値は、`true` または `false` です
- `type` : ブール値
- デフォルト値: `false`
- `true` : データブローカーは、社内の外部の橋本社から機密情報を入手します
- `false` : データブローカーのクレデンシャルがローカルボルトに格納されます

URL

- 文字列を入力します
- 値: 外部ボルトの URL

パス

- 文字列を入力します
- 値: クレデンシャルを使用してシークレットへのプレフィックスパスを指定します

拒否 - 承認されていません

- データブローカーで権限のないことを拒否するかどうかを指定します 外部ボルト
- `type` : ブール値
- デフォルト: `false`

auth-method を指定します

- 外部ボルトへの認証方法
- 文字列を入力します
- 有効な値は「AWS- IAM 」 / 「 role-app 」です。

ロール名

- 文字列を入力します
- ロール名（ AWS- IAM を使用している場合）

Secretd&rootid

- タイプ： string （ app-role を使用する場合）

ネームスペース

- 文字列を入力します
- ネームスペース（必要に応じて X-Vault - 名前空間ヘッダー）

例

```
{
  "external-integrations": {
    "hashicorp": {
      "enabled": true,
      "url": "https://example.vault.com:8200",
      "path": "my-path/all-secrets",
      "reject-unauthorized": false,
      "auth-method": "aws-role",
      "aws-role": {
        "role-name": "my-role"
      }
    }
  }
}
```

ヴォールのシークレットを使用して、新しい同期関係を作成します

すべての設定が完了したら、 API 呼び出しを送信して、ヴォールトを使用してシークレットを取得する同期関係を作成できます。

Cloud Sync REST API を使用して関係をポストします。

Headers:

Authorization: Bearer <user-token>

Content-Type: application/json

x-account-id: <accountid>

x-netapp-external-request-id-src: request ID as part of path for source credentials

x-netapp-external-request-id-trg: request ID as part of path for target credentials

Body: post relationship v2 body

- ユーザトークンと Cloud Central アカウント ID を取得するには、["のドキュメントのこのページを参照してください"](#)。
- 投稿関係の本文を作成するには、["relationships-v2 API 呼び出しを参照してください"](#)。

例

POST 要求の例：

url: <https://api.cloudsync.netapp.com/api/relationships-v2>

headers:

"x-account-id": "CS-SasdW"

"x-netapp-external-request-id-src": "hb312vdasr2"

"Content-Type": "application/json"

"Authorization": "Bearer eyJhbGciOiJSUzI1NiIsInR5cCI6IkpXVCIsImtpZCI6Ikp..."

Body:

```
{
  "dataBrokerId": "5e6e111d578dtyuu1555sa60",
  "source": {
    "protocol": "s3",
    "s3": {
      "provider": "sgws",
      "host": "1.1.1.1",
      "port": "443",
      "bucket": "my-source"
    }
  },
  "target": {
    "protocol": "s3",
    "s3": {
      "bucket": "my-target-bucket"
    }
  }
}
```

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.